

真庭なりわい塾第8期 10月講座

農山村の100のナリワイ

100のナリワイ=百姓？

あなたの仕事観・労働観に刺激を与える！

駒宮博男

「ナリワイ」とは何か？

Goo辞書より

1. 生活を営むための**仕事**。
2. **五穀**が実るようにつとめるわざ。**農業**。また、その作物。

初期のなりわい塾の中心的ミッション

= 稼ぎ・務め・暮らしのバランスを考える

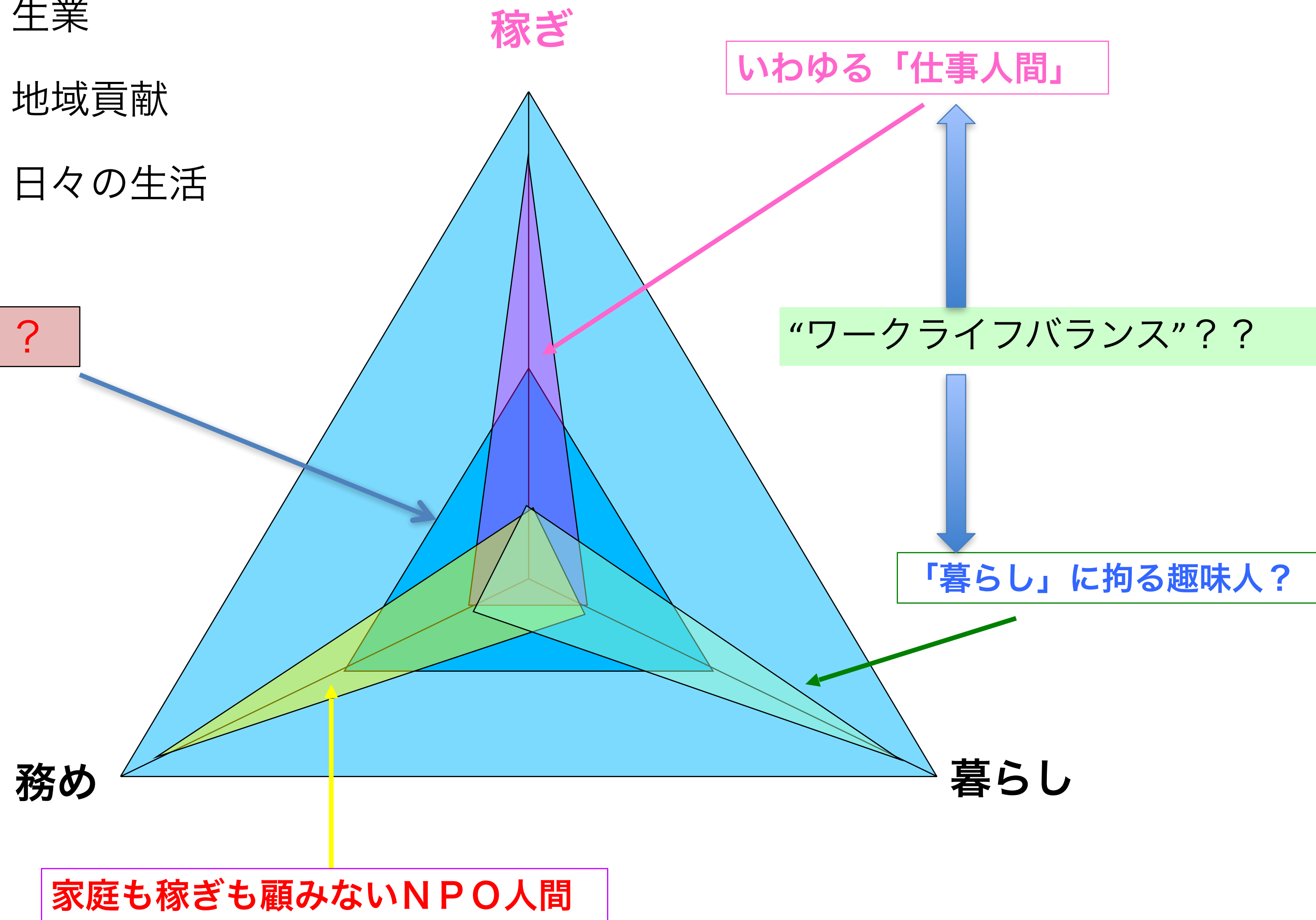
(当たり前の生きることの意味を考える)

- 稼ぎ : 暮らしの為のなりわい
- 務め : 地域社会への貢献
- 暮らし : 家族・個人の衣食住など

バランス良い稼ぎ・務め・暮らしを求めて

- 「稼ぎ」 = 生業
- 「務め」 = 地域貢献
- 「暮らし」 = 日々の生活

豊森の理想??



果たして、皆さんは「自立」しているか？

・・・「自立」の為の稼ぎ・暮らし・務めのバランス・・・

- 稼ぎ中心の「会社人間」
 - 教育、衣食住など、暮らしは奥さんに依存？
 - 自治体地域活動等は、参加せず？
- 暮らし中心の趣味人
 - 稼ぎは二の次（誰かに依存）？
- 務め中心のボランティア人間
 - 稼ぎは二の次（誰かに依存）
 - 暮らしも二の次（誰かに依存）
- **かつては、生きること＝働くこと**
 - ＝稼ぎ・務め・暮らし**
 - ⇒ みんな「自立」していた！！**

しかし、「稼ぎ」、「暮らし」、「務め」が、判然としないという多くの声が？

最近私が強調しているなりわい塾のミッションは・・・

「買う」から、「作る」へ

そこで、もう一度、「ナリワイ」を考えることに！

いい本を見つけました ！
労働の専門家が、江戸時代のことを書いてくれた

ちょっと、覗いてみよう ！

(現在の”ナリワイ観”は、昔からのものではない！)

『仕事と日本人』（武田晴人）を読んで

(私の考えも含めて解説)

・・・暮らし・稼ぎ・務めへのプロローグ・・・

仕事と労働

休日

生産性向上

「仕事」と、「労働」の違い

(出典：『仕事と日本人』(武田晴人))

- 「労働」は明治以降に作られた造語
 - "Labour"の訳語としての「労働」(労働)
 - 「働」という字は和製漢字！(日清戦争以後？)
 - それ以前は、「力作」、「勤勞」、「勞働」
- 江戸までは「仕事」だけ
 - 主要な仕事は農業
 - 「仕事」と「生きること」の区別は不明瞭
- 「労働」の起源
 - 労働(体を動かす)から労働(骨折って働く)へ
 - 時間の概念が「労働」を生み出した
 - ⇒ 「怠惰」が駆逐され、「労働」が成立！
- 日本と欧州の労働観の違い
 - 欧州社会：聖職者、貴族・騎士、奴隸
 - 奴隸のみ労働を行なう(神の罰としての労働)
 - その後、プロテスタンティズムにより、労働を正当化！
詳しくは、『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』(マックス・ウェーバー)

労働時間の推移

- 生産の合理化（ロボット等）により、急速に労働時間が減少することが予想された（1973年）
 - 1970年大阪万博、1985つくば科学博
 - 産業用ロボットは、1960年代から開発され、1970年代実用化
- 「20世紀の危機」（江藤瀋吉 国際関係論）
 - 東大に初めて「国際関係論」講座ができ、初代教授に江藤が
 - 20世紀3つの負い目：人口爆発、核兵器、余暇の増大
 - 「余暇の増大」が「危機」である意味は？
 - 余暇に何をすることが未来社会の課題（**趣味の奨励！！**）？
 - 現実には、労働時間は減少しなかった！
 - 「余暇」を、「失業」と読み替えれば、危機の意味はよく分かる
- AI、ロボットの普及は何をもたらすのか？
 - 雇用の減少をどの程度もたらしたか？今後もたらすか？
 - 雇用減少の技術は、「**非適正技術**」？（シューマッハー）

非労働時間（休日等）の推移



唐代の中国の書『太上除三尸 九虫保生經』にある三尸の画。
向かって右から順に上尸、中尸、下尸。

- 「遊び日」の増加
 - そもそも、決まった休日はなかった！
 - 江戸後期の休日は、50日～60日
(会津藩では、80日！)
 - 多様な「祭り」の創造による休日創造？
何のお祭りだがよく分からないが、とにかく酒が飲める？
庚申様の日は、徹夜で飲まないと災難に遭う？？？
 - 地域の自治による「遊び日」の決定
 - 明治以降、太陽暦採用、日曜休日
- 非生産期間である「教育」の捉え方
 - 「勉強は商売のじゃま！」（中京・阪神圏）：『坂の上の雲』（司馬遼太郎）
 - 教育でどれ程生産性は向上しているか？

生産性向上はどうしても必要か？

(人間は無意識のうちに年率3%生産性を向上させる)

- 本当なら、労働時間減少 ⇒ 余暇の増大 ？
 - ・江戸期に見る「遊び日」の増大
- 歴史的には、搾取による余剰価値の創出
 - ・古代の様々な建造物は、余剰価値の集積物か？
 - ・資本主義的拡大再生産
- 庶民は大昔から**非生産的行為**を行ってきた！
 - (生産性の低い社会でも、非生産的行為はあった)
 - ・伊勢参り、富士講
 - ・カイラス巡礼を経済学的にどう考えるか？
 - ・仏教社会に於ける「乞食」は？ (贈与の強制??)

カイラス山の五体投地

チベット仏教・ボン教・ヒンドゥー教・ジャイナ教の聖地で、
信者は一生に一度は訪れ、五体投地をしたいと願っている！

国際的には、世界の最貧地域でありながら・・・



<http://www.geocities.co.jp/SilkRoad-Desert/3657/kailas.htm>より

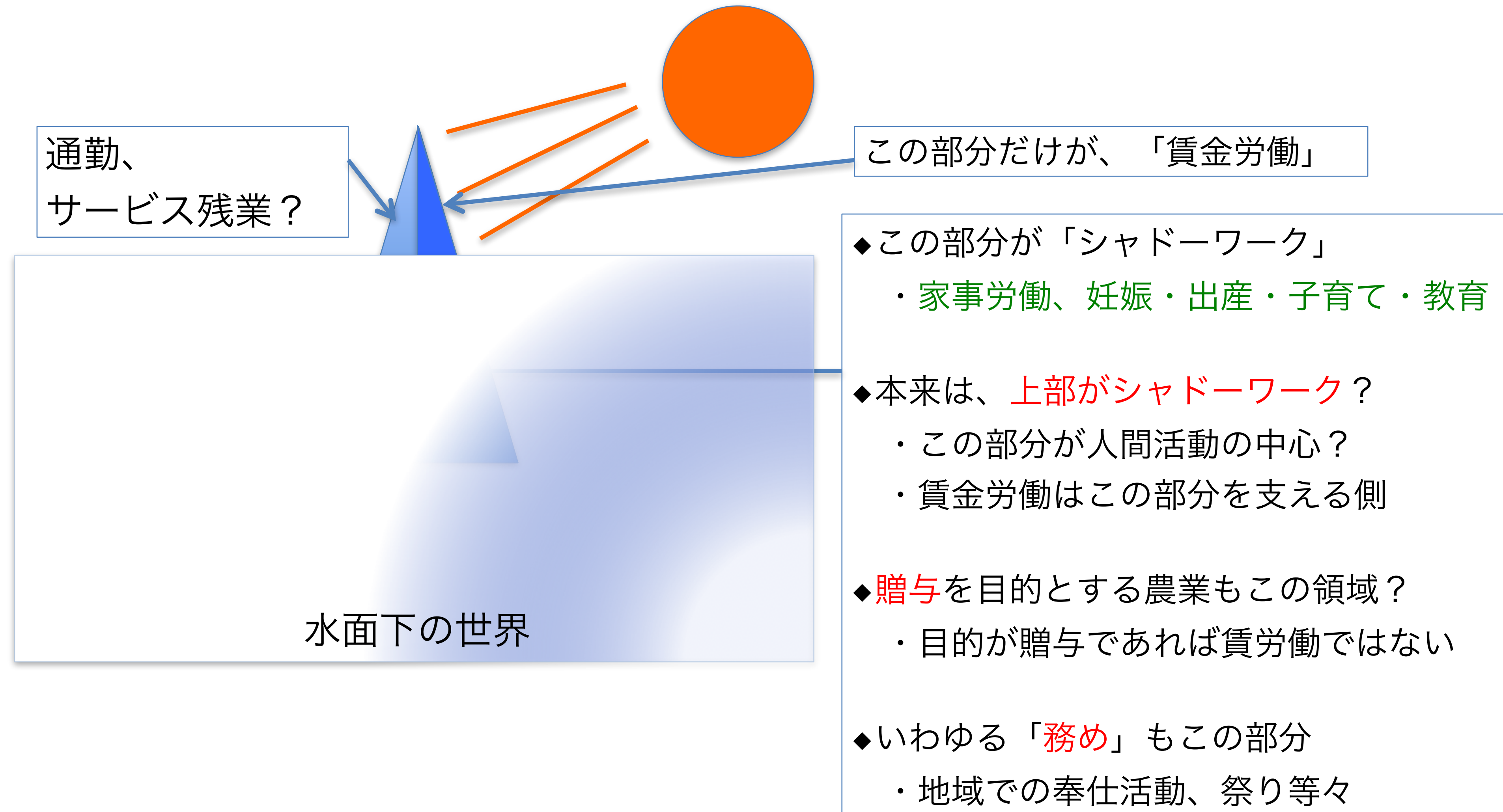
40年程前、チベットの首都にある
ポタラ宮で現物を見ました。



<http://www.yunnan-k.jp/yunnan-k/36-20160319/897-20160319-36-01-fujimoto.html>より

労働は「賃金労働」だけか？

(イヴァン・イリイチの“シャドーワーク”を考える)



いつの間にか、**お金中心**の経済構造が出来上がった

- "Good Economics for Hard Times" (デュフロ他) に見る事例
 - アフリカのある国で、農村から追い出された農民がスラム形成
 - 農村では自給していたため、年収はほぼ"0"
 - スラムでわずかな賃金 (1\$/日) をもらう
 - 「GDPは増加した！」と、政府の役人は言うらしい！
- "Local is Our Future" (ヘレナ・ノバークホッジ) に見る事例
 - インド支配前のラダックでは、豊かな自給的生活だった
 - インド支配下になり、安い食料が一気に乱入
 - 若者は、首都のレーに出稼ぎ
 - チベット仏教徒とイスラム教徒の殺し合いも

- 江戸時代は自給だけ？ (実はそうでもない)
 - 「郡上一揆」に見る貨幣経済
 - 多くの農民はお金を持っていた。
 - そのお金を出し合って、江戸に籠訴に行く！

ここで発想を変えて、「非貨幣経済」を考える

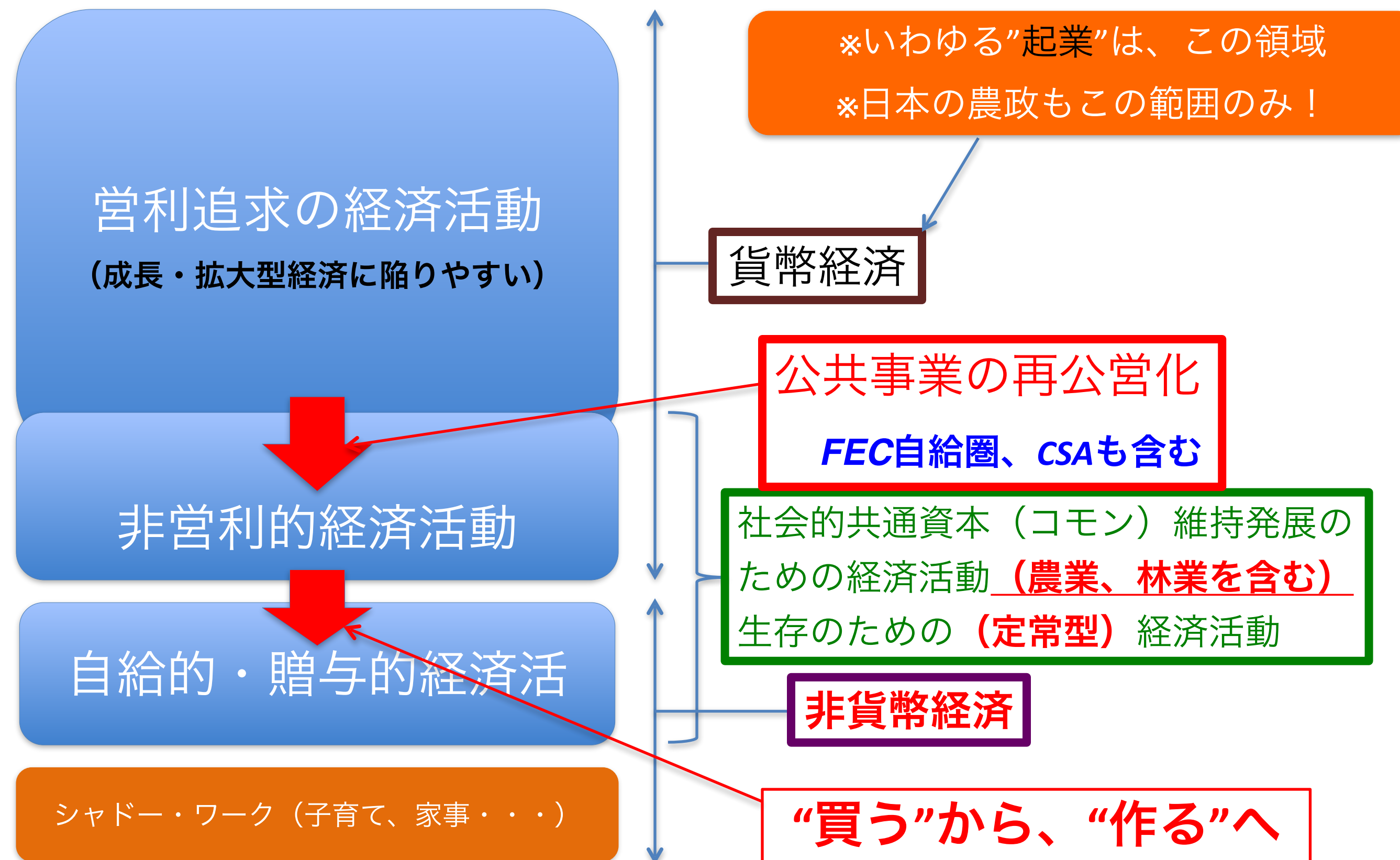
- ・ そもそも現在の経済学は、非貨幣経済を無視している
「"買う"から"作る"へ」とは、非貨幣経済を再考すること？
- ・ 生きる上で最も大切なものは、自分で作りたいという欲求
安心安全な食、安定供給されるエネルギー等への漠然とした欲求
(コロナ、ウクライナ等に左右されない生活は可能か？)
- ・ アジア、アフリカ、南米等、多くの地域は自給経済圏だった
自給(非貨幣経済)を誰に奪われたのか？
多くの地域では、植民地主義、グローバリズムが奪った
しかし、日本の場合、「近代化」が奪った？
- ・ 食、エネルギー、教育、医療、福祉を自給できないだろうか？
自給でなくとも、贈与・交換、更には非営利組織も含め、地域で
(FEC(Food+Energy+Care)自給圏)という発想はどれほど現実的か)

非貨幣経済を土台とした地域経済を考える

- **なぜ、お金が動かないと、経済学の俎上に載らないのか？**
 - 経済学発祥の地である欧州は、古くから**重商主義**
歴史的には、農奴→植民地に、農業依存
しかし、食を他国に依存することの危険性を知り、自給率は高い
 - アジアは元々自給経済が中心で、特に江戸時代の日本は**農本主義**
- **自給・贈与・交換という「非貨幣経済」が中心の経済構造の復活は可能か**
 - 目指すのは、無理せず自給率を上げられる生活形態
週休3日、リモートワークの常態化が自給を可能とする
- ところで、**地域の中小零細事業者**は、「営利活動」を行っているか？？
 - 儲けることではなく、家族の生活の糧、地域内雇用創出が目的では？
せいぜいいい車に乗って、時々グルメを食べる位は、金持ちとはいえない？
本当の金持ちは、お金そのものを如何にして増殖させるかを考えている！
- **本当の営利組織は、グローバル企業だけ？？**
 - 多くの場合、グローバル企業の孫請け・曾孫請けは、非営利では？
- 非貨幣経済の上に乗るのが、「**非営利活動**」では？
 - 教育・医療・福祉は、基本的には「非営利」
 - 地域の小売、サービス業も基本は「非営利」では？

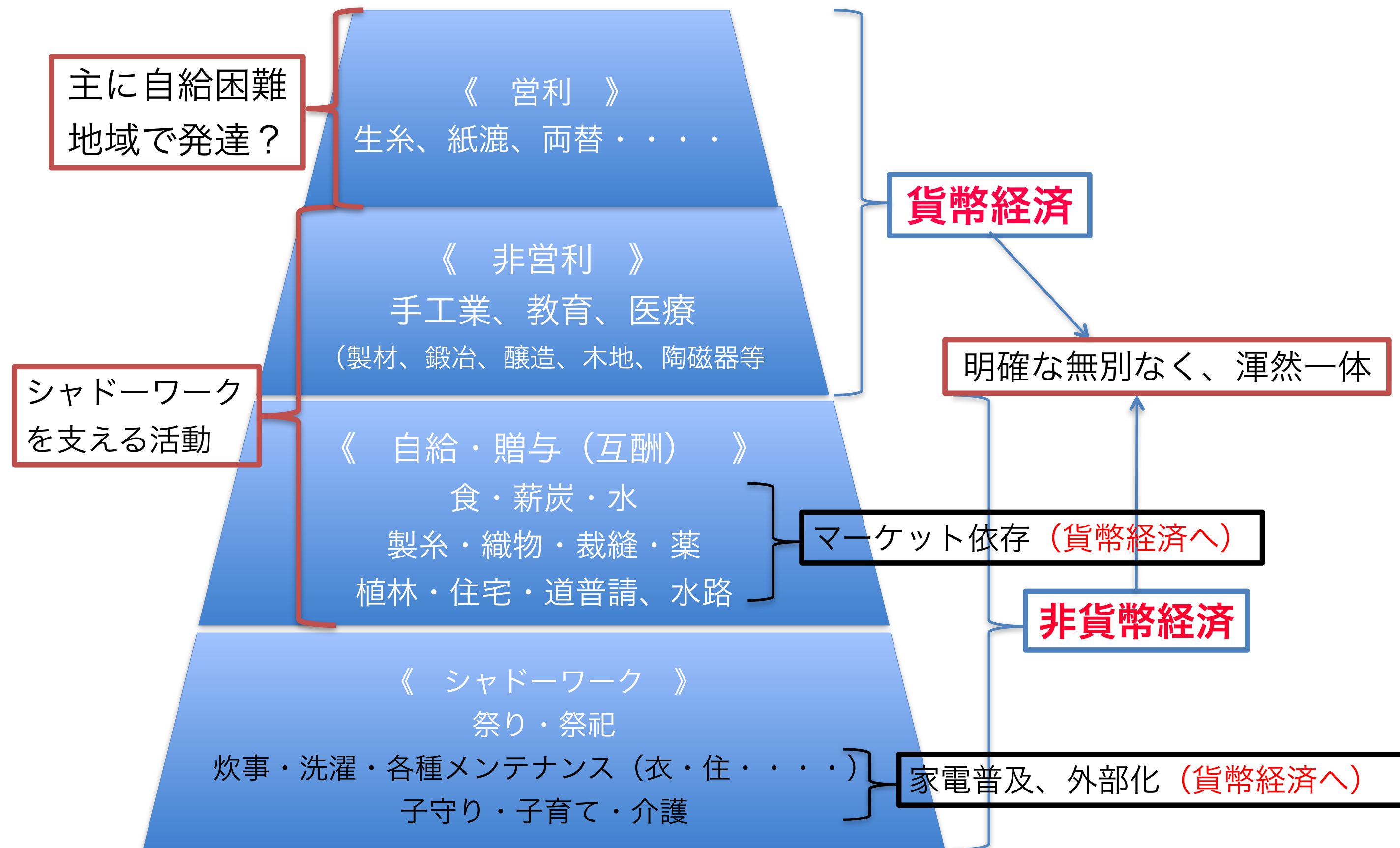
新たな経済構造試案（食と農の復習）

（非貨幣経済も含める）



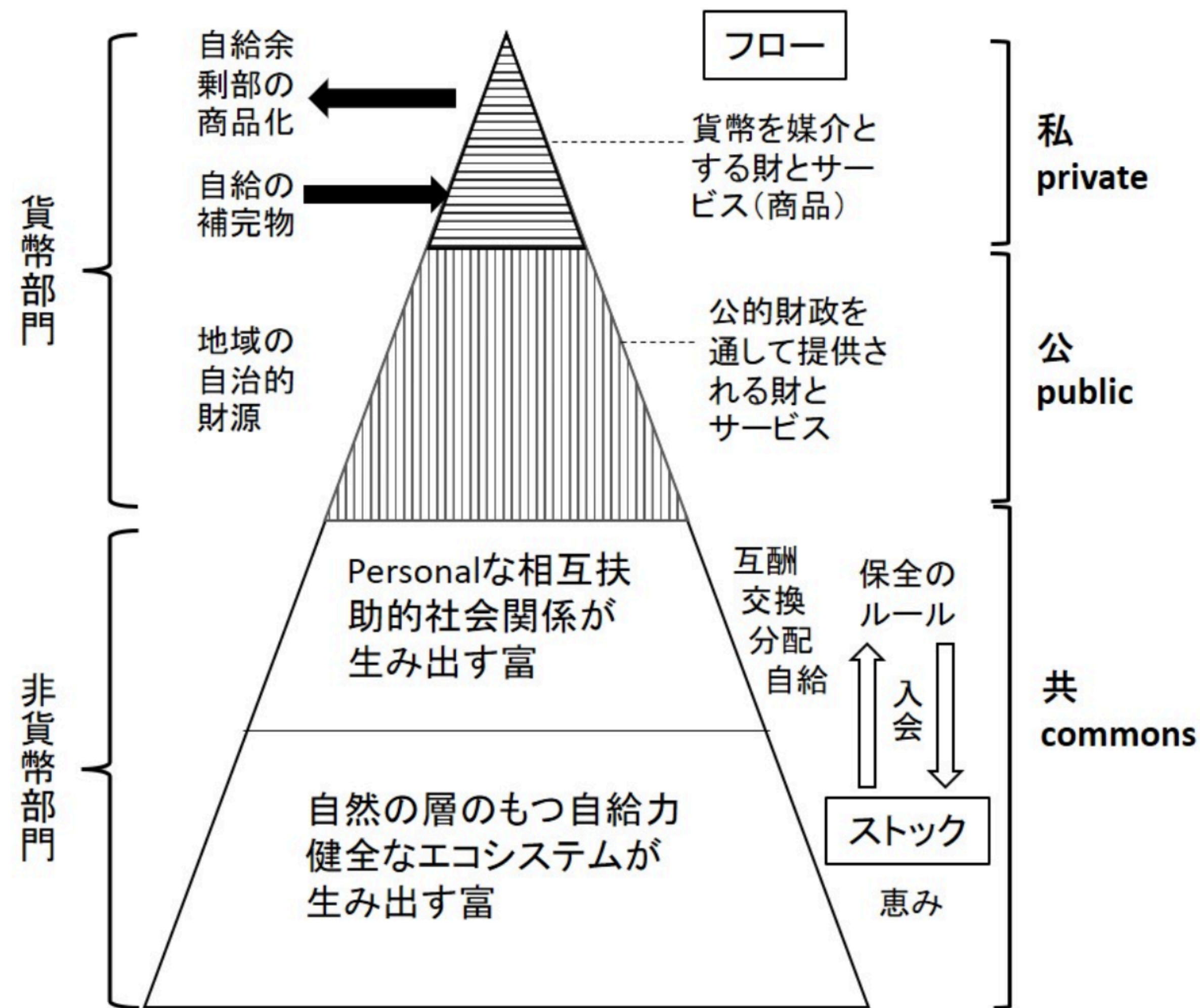
ひと昔前の経済構造（食と農の復習）

（フィールドワークで少しは分かるかも？）



誰か同じ考えの人はいないかと調べたら・・・

『コモンズの経済学』（多辺田政弘）より



多辺田が唱えた「健全なエコロジーがささえる経済」モデルの図（多辺田政弘『コモンズの経済学』より）

経済学の枠を超え、自然資源を包括的に考えているところが素晴らしい！

(補足) 一応押さえておくべき経済の現状

現在進行中の、経済・労働環境はどうなっているのか

(H28,29年に出された経産省レポートがまさに進行している)

既に始まっている第4次産業革命

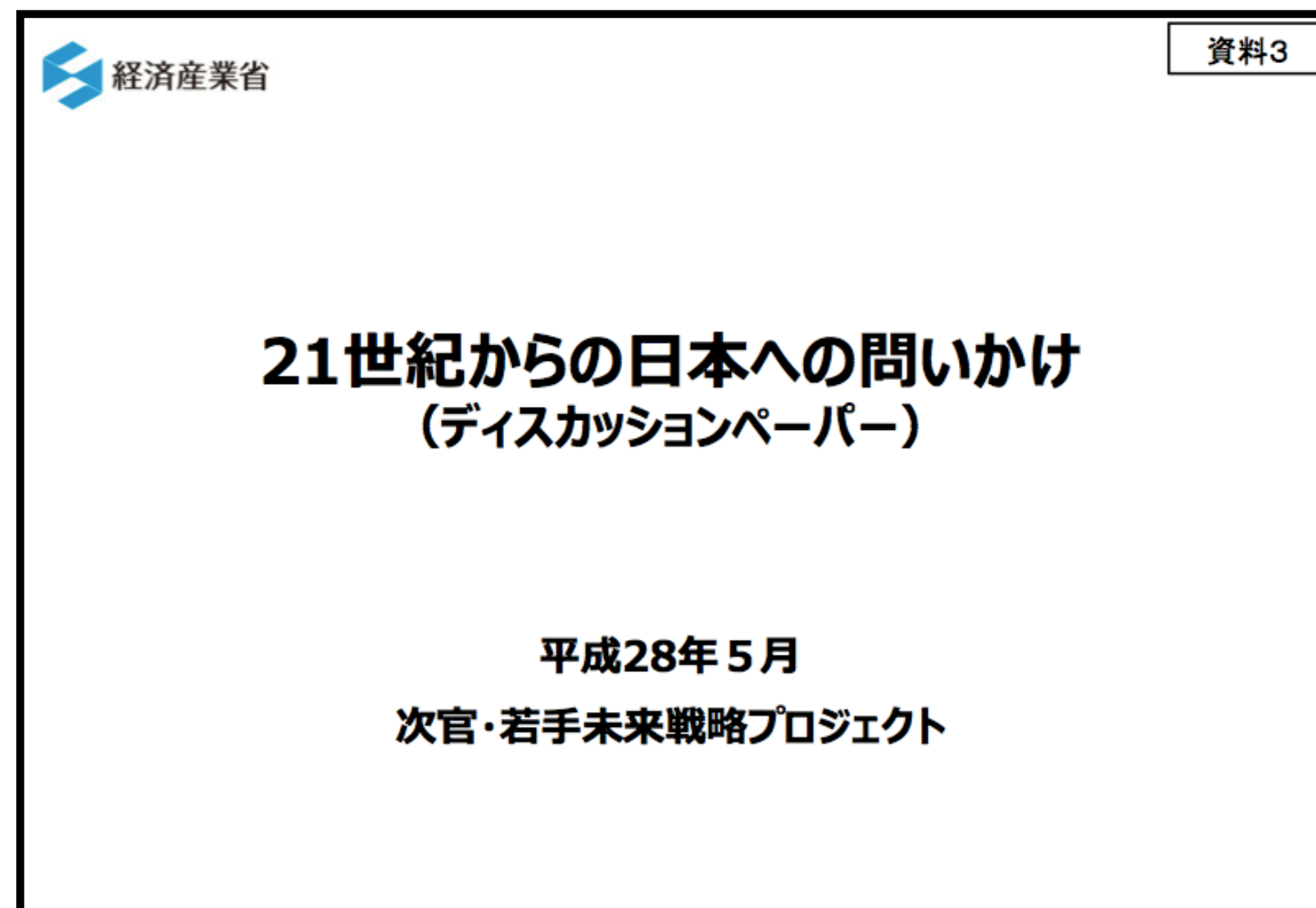
地域経済、地域での生活は一体どうなるのか???

- 経済産業省 次官＋若手グループのレポート

H28年：『21世紀からの日本への問いかけ』

H29年：『不安な個人、立ちすくむ国家』

(モデル無き時代をどう前向きに生き抜くか)

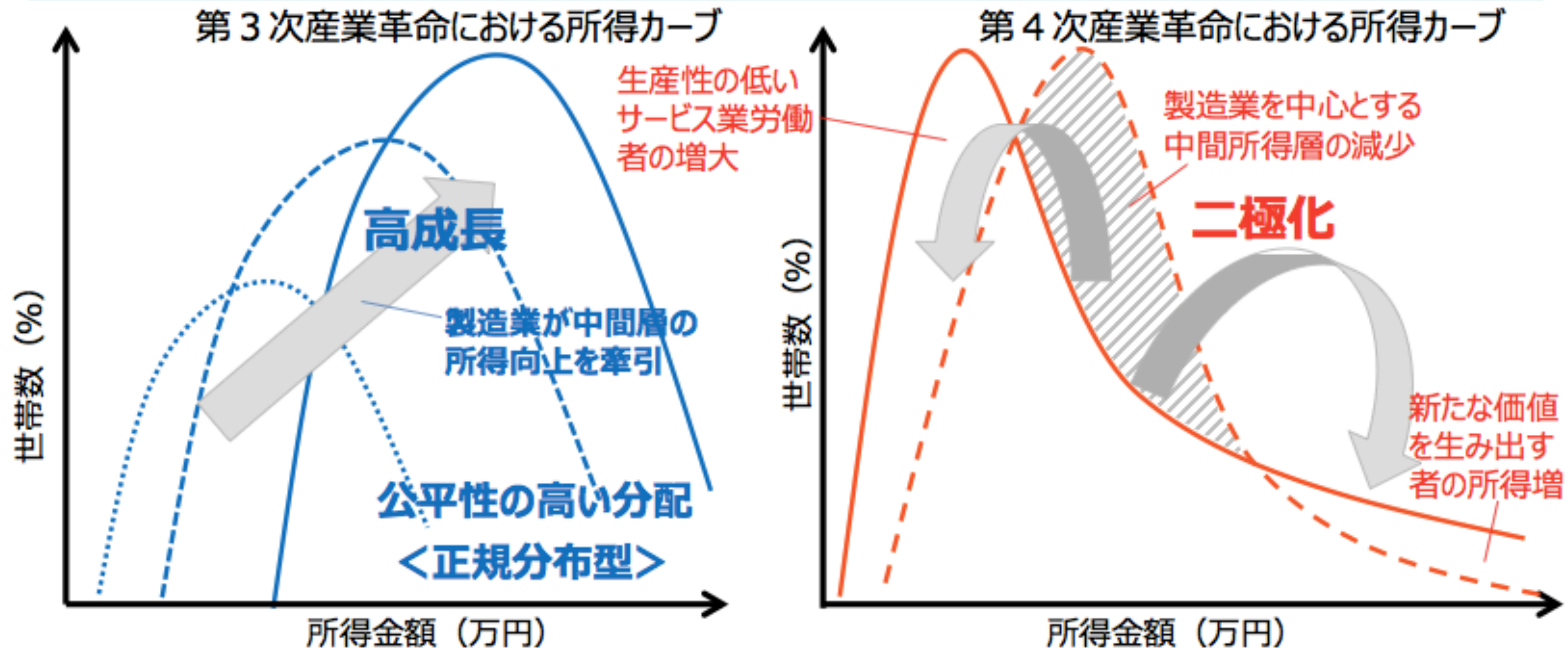


H28年のレポートより・・・(1)

1. グローバルトレンド (3) 差異化による利益偏在のインパクト

④ 第4次産業革命における二極化の進行

- 第3次産業革命までは、製造業の工場労働に支えられ、分厚い中間層が生まれることで、経済成長と公平性が両立できた。
- 今後、労働代替と、世界の均質化が進めば、二極化による中間層の没落や格差の拡大が進むのではないか。

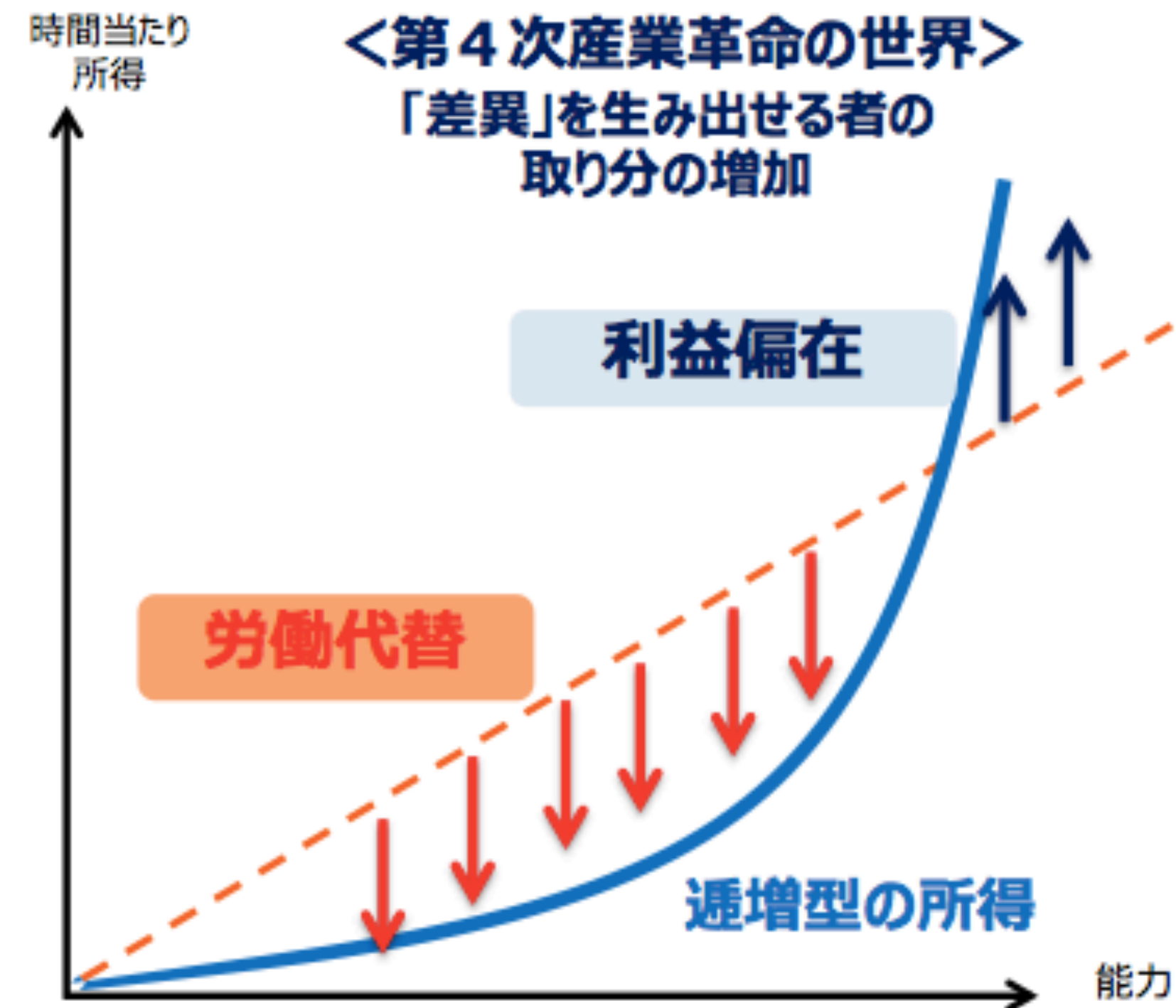
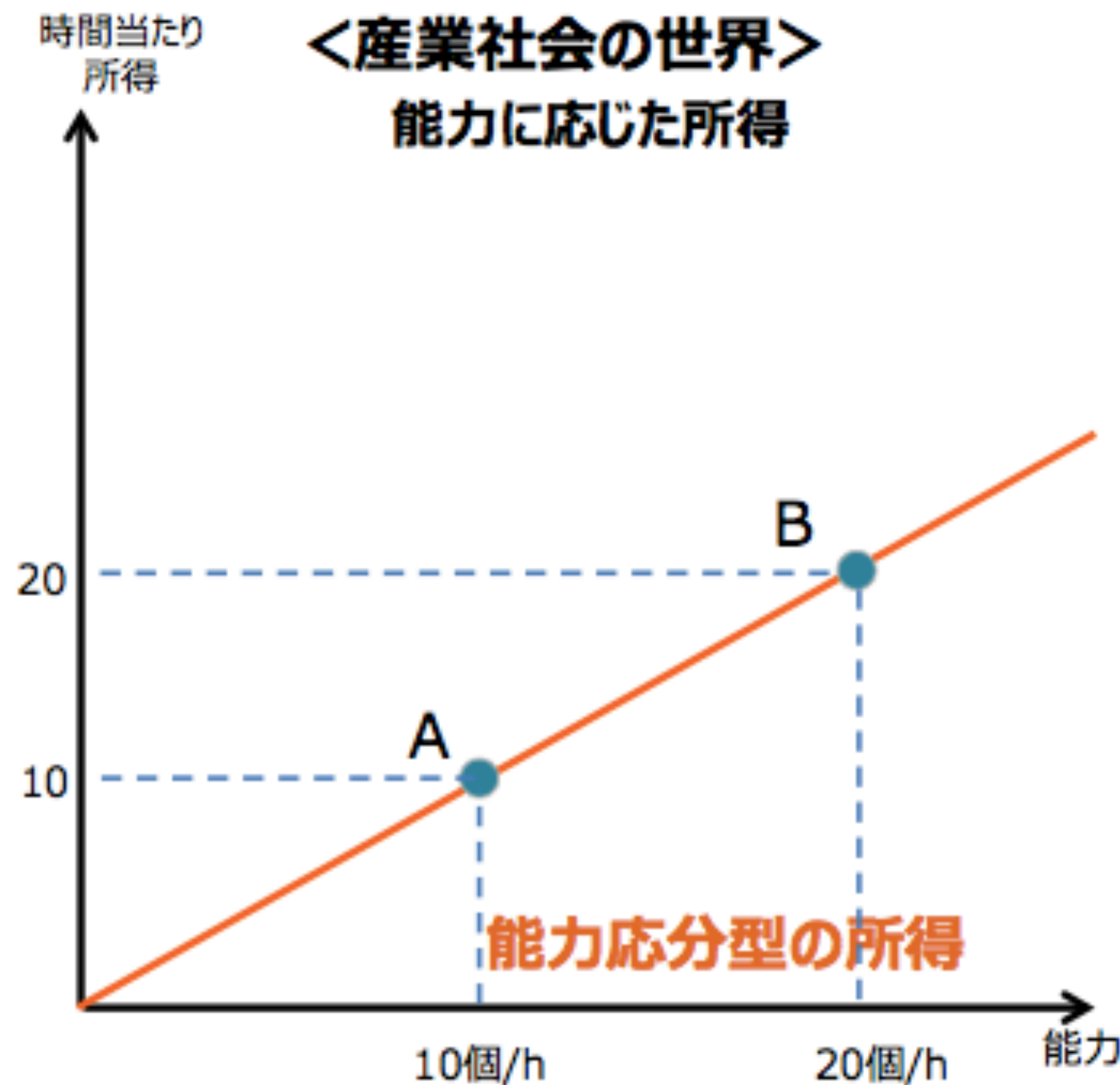


H28年のレポートより・・・(2)

1. グローバルトレンド (3) 差異化による利益偏在のインパクト

③利益偏在が所得構造に及ぼす影響

- 均質化した世界では、「差異」を生み出せる者だけが多くの取り分を確保でき、その他の労働者の取り分は減少するのではないか。
- 結果として、上位所得層に富が集中 (「差異化」による利益偏在) する傾向が強くなるのではないか。

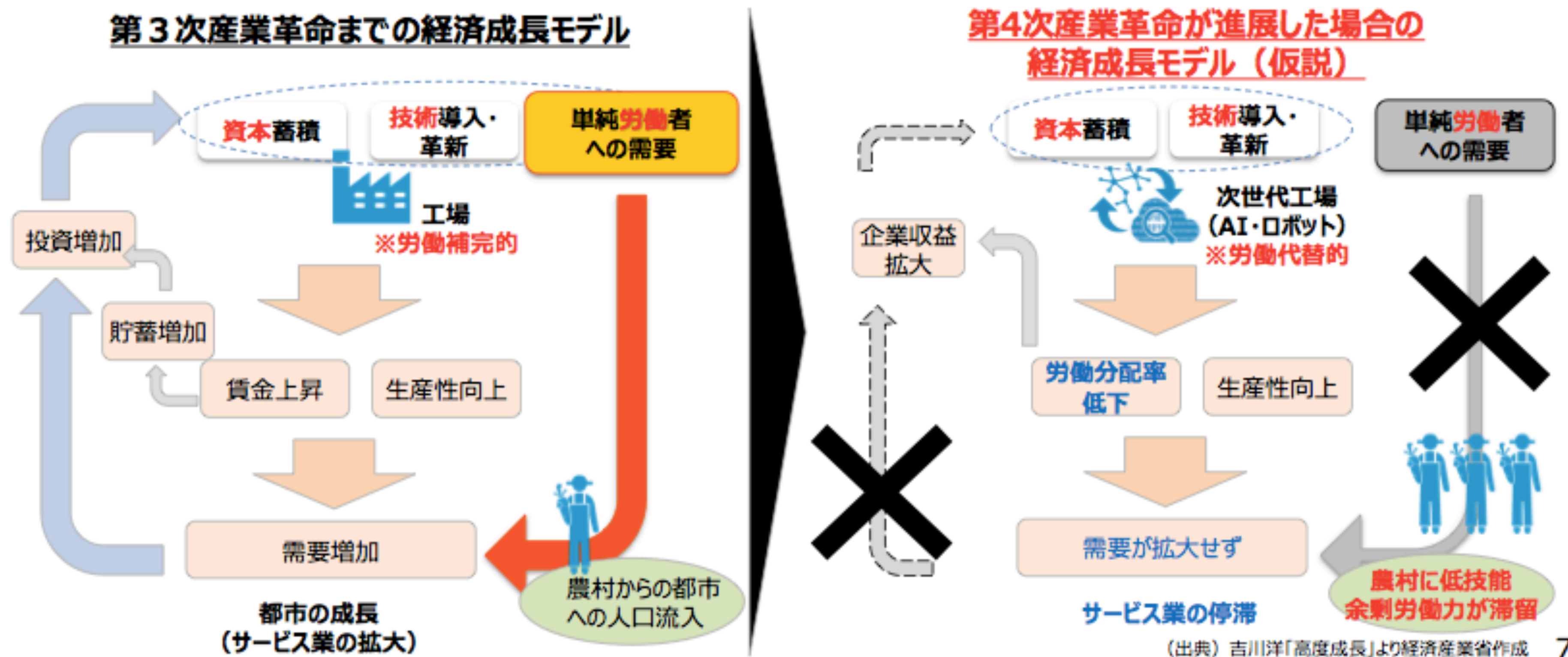


H28年のレポートより・・・(3)

1. グローバルトレンド (2) 労働代替効果のインパクト

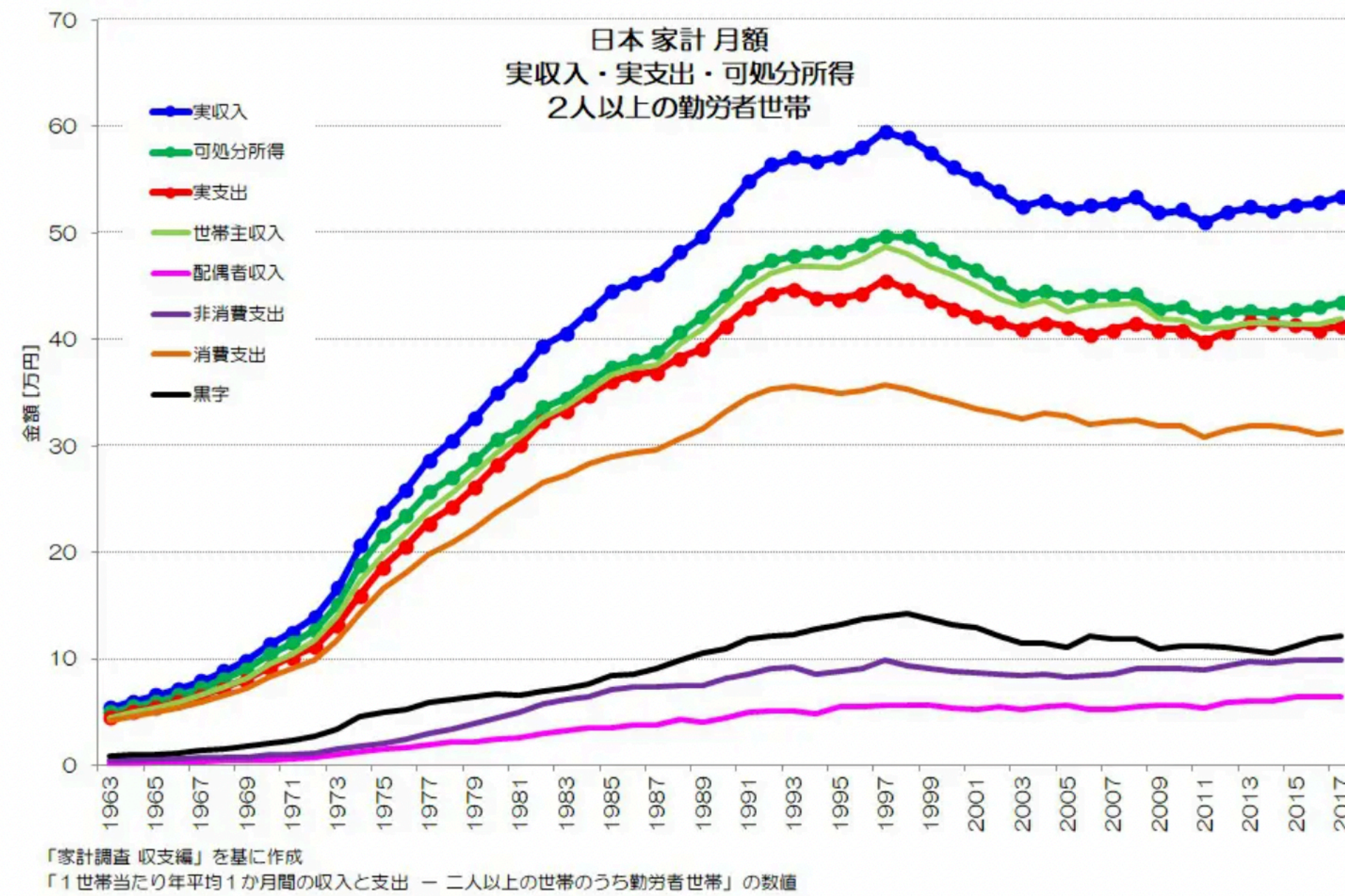
②労働代替効果による経済成長モデルの変化

- 第3次産業革命までは、工場で雇用が生まれ、農村から労働力が供給されることで、需要が増加し、更なる投資拡大をもたらすという経済発展モデルが存在。
- 第4次産業革命で労働代替（無人化）が進展すると、工場で雇用が生まれなため、労働力が吸収できず、従来型の経済発展の「方程式」が通用しなくなるのではないかと懸念されている。

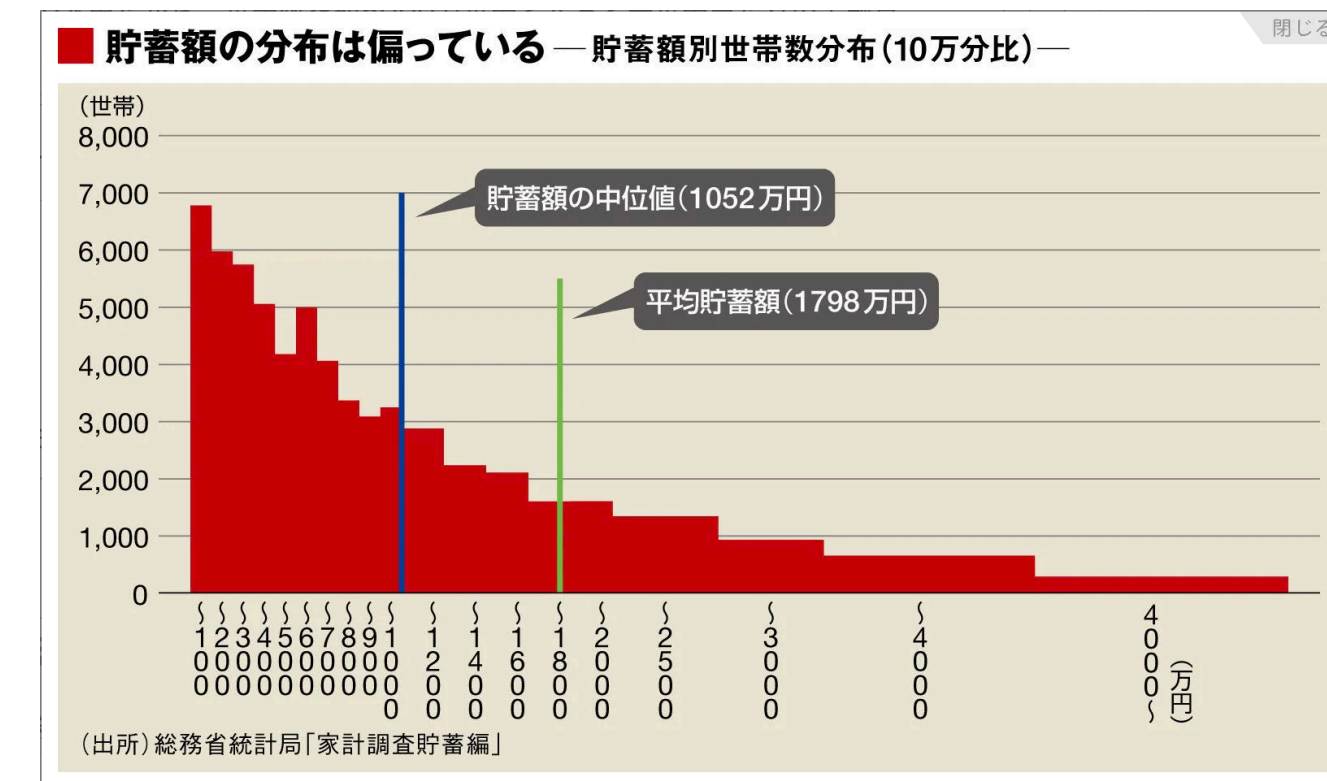
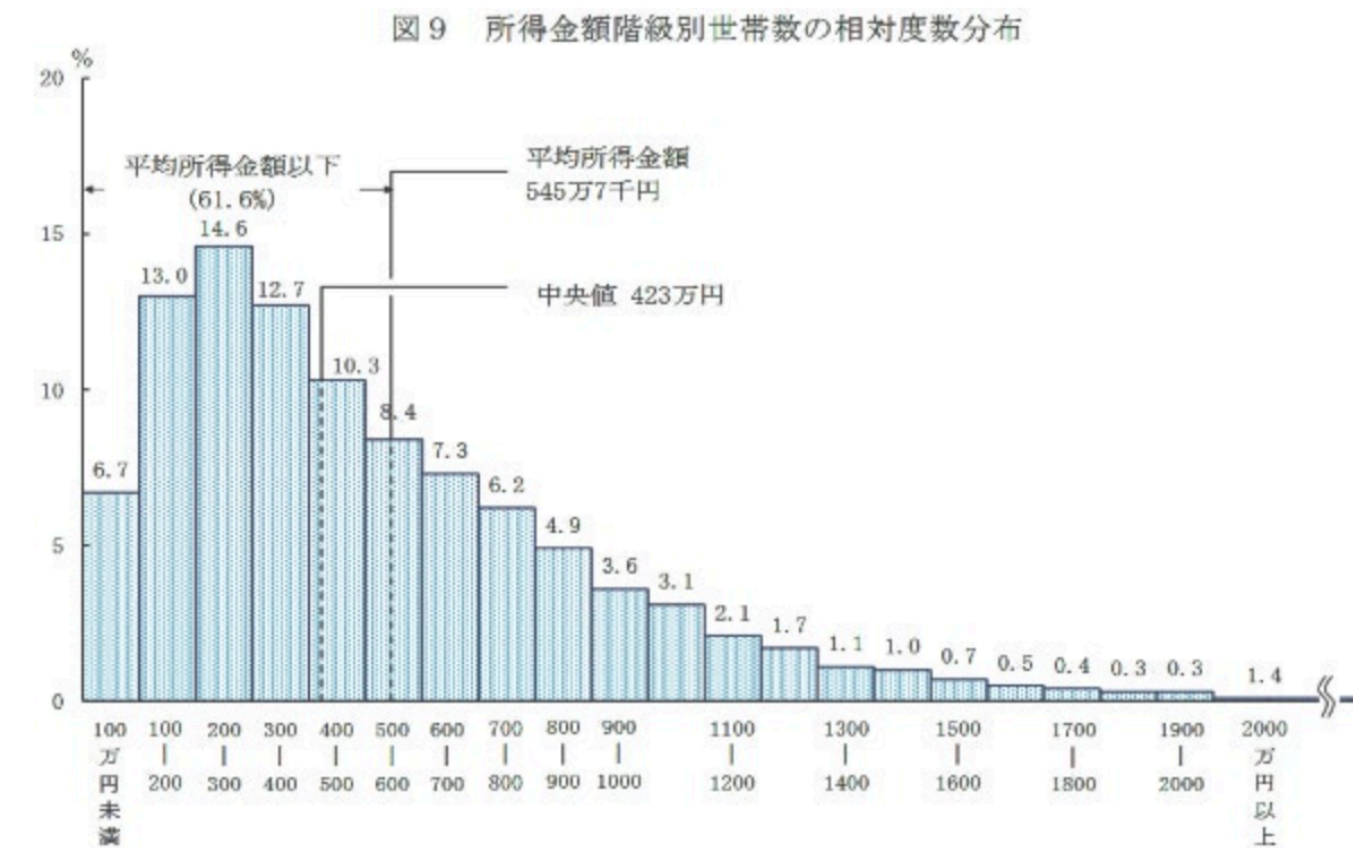


日本経済は成長しているのか？

(実は、急速に「格差」が拡大している！！)



1995年から日本経済は成長していない
(高度成長期とは違う社会に！！)



急速に格差が拡大！！

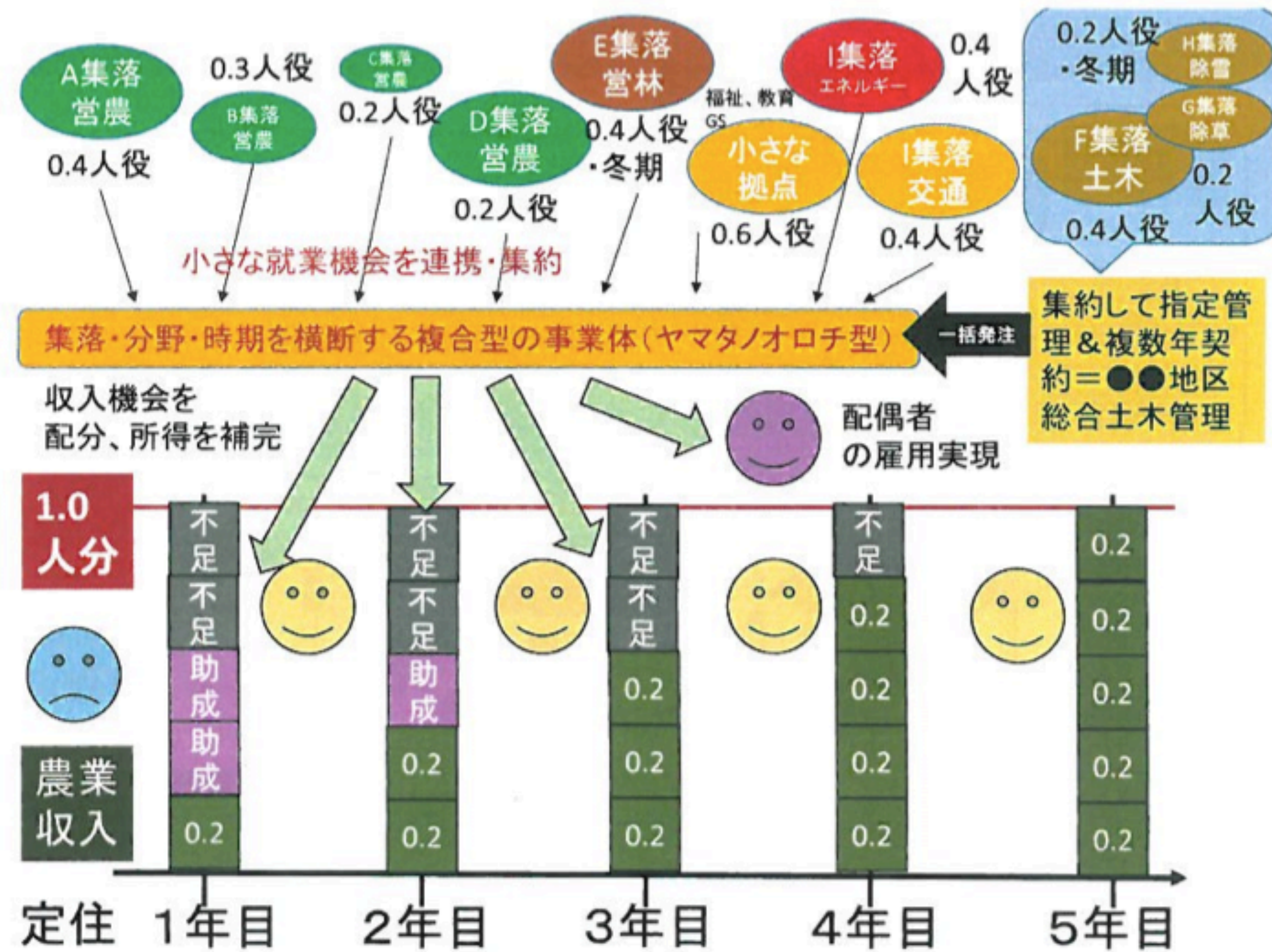
「強きをくじき弱きを助ける」という「正義」は消滅し、
「強きを助け、弱きをくじく」ひどい社会に！！！！

こうした現状を頭に入れながら

「100のナリワイ」とは . . .

(なりわい塾的「百業」の奨め 自給も含め)

「100のナリワイ」の具体的イメージ（藤山案）



5年間で、ゆっくりと「農」をナリワイにする

(参考) お金を稼ぎたい人は6次産業へどうぞ

一次

二次

三次



玄米



200円/合

どこが儲かるかは一目瞭然！
農業だけでは儲からない！
農家レストランは儲かるかも？



小麦：3円/100g



製麺：30円/100g



パスタ：700円

色々あるけど、実はなんとかなる！！

- ・ 「ビジネスモデル」に惑わされない

ビジネスモデルがないと田舎で暮らせない?????

(これは、経済活動＝貨幣経済という呪縛があるから?)

- ・ 鍵は、地域に溶け込むこと！

地域に溶け込む努力をすると、仕事が舞い込んでくる

- ・ 食の自給を基本に、その上に貨幣経済活動を考える

食の自給で得られる貨幣価値は、ちゃんとやれば50万円/年？

ちゃんとやるには、保存技術をマスターすること！

食だけでなく、エネルギーが自給できたら・・・

EVが普及すると、食以上の貨幣価値に！

ただし、イニシャルコストはそれなりにかかる

教育も自給したら??

教育費（塾等）は結構お金がかかる！

(高校から下宿だと300万円/3年、大学は平均900万円/4年)

最後に・・・

- なりわい塾的な、新しい「仕事観」、「労働観」を作らしましょう！！
- 戦後主流となったサラリーマン社会とは・・・
(サラリーマン社会＝誰かに魂を売る社会)
- 「半農＝半自給」をベースとした社会への転換！
あなた自身の多業、そして、「買う」から「作る」へのバランスを考えて下さい！